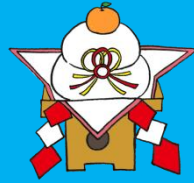




あおぞらいぶらりー
宜野湾市立中央公民館
図書室だより 1月号(397)



新着図書案内

「月夜の森の鳥」小池真理子/著 朝日新聞出版
作家夫婦は病と死に向きあい、どのように過ごしたのか。残された著者は過去の記憶の不意うちに苦しみ、その後を生き抜く。心の底から生きることを励ます喪失エッセイの傑作、52編。



「ひとりでカラカサしてゆく」

江國香織/著 新潮社

大晦日の夜、ホテルに集まった八十歳過ぎの三人の男女。彼らは酒を飲んで共に過ごした過去を懐かしみ、そして一緒に命を絶った。三人にいったい何があったのか——。人生におけるいくつもの喪失、いくつもの終焉を描き、胸に沁みる長篇小説。



「公民館のしあさって」

公民館のしあさって出版委員会/著 ポーダーインク

ユニークな活動が目される繁多川公民館の現場やエジプトの公民館のようす、そしてそもそも公民館とは何かを考え、その可能性を探る。「公民館」に対しての知識が深まる一冊。



この他、新着図書
多数取り揃えて
います★



祝
成人

1月10日は「成人の日」ということで、新成人の皆さんに向けて
図書室おすすめの本をピックアップ!これから新たな世界に飛び
込んでいく前に、ぜひ読んでみてください。

「20歳」におすすめの本

『死ぬまで仕事に困らないために
20代で出逢っておきたい100の言葉』千田琢哉/著 かんき出版
「20代でやっておくべき、たった一つのことを挙げるならば、とにかく、
たくさんの良い言葉のシャワーを浴びておくことだ。」20代読者から圧倒的
な人気を誇る著者による、気づきの言葉集!



お正月特集コーナー



あけましておめでとうございます!
図書室では、新年に合わせてお正月の本を集めてみました♪
お正月をもっと楽しめること間違いなしの本たちです。
この機会に手にとってみてはいかがでしょうか?

「十二支のはじまり」岩崎京子/文 二保英五郎/画 教育画劇

ある年の暮れ、神さまが動物たちに「正月の朝、ごてんに来るように。来たものから順に12ばんまで、その年の大将にする」とおふれを出した。ところがねずみはねこにうそを教えて…。



「はつゆめはひみつ」谷真介/文 赤坂三好/絵 偕成出版社

大金もちの主人が正月にみたよい夢を買おうとします。ところが、こそこの九助だけは夢のはなしをしません。九助はいったいどんな夢をみたのでしょうか…。全国各地につたわる民話や伝説をもとに楽しく再話した絵本。



図書室にはこの他にもお正月に関する本を取り揃えています♪

図書室からのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、**図書室内での図書閲覧・自主学习は当面の間、利用を制限**致します。
また、団体での利用はご遠慮ください。

※**図書の貸出・返却・予約・リクエストはできます。**

また**1月15日(土)**に予定していた「よみきかせくろうさぎ」による読み聞かせ会は**中止**となりました。
利用者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力の程、宜しくお願い致します。



- 1月のお休み ●
- ・毎週火曜日、第3金曜日(資料整理日)
- ・1月1日~1月3日(年末年始休み)
- ・1月10日(成人の日)



1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10 成人の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21 資料整理日	22
24 31	24	25	26	27	28	29